

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長  
福田 紀彦 様

郵便番号 210-0864  
住 所 川崎市川崎区池上町2番1  
氏 名 エヌケーケーシームレス鋼管(株)  
代表取締役社長 バルネゲ・ロラント・コリス 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エヌケーケーシームレス鋼管株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区池上町2番1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	継目無鋼管の製造・販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		18,637 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	安全衛生・環境防災室
		所在地	川崎市川崎区池上町2番1
		電話番号	044-322-1019
		FAX番号	044-322-1587
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成28年度 ~ 平成30年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	なし

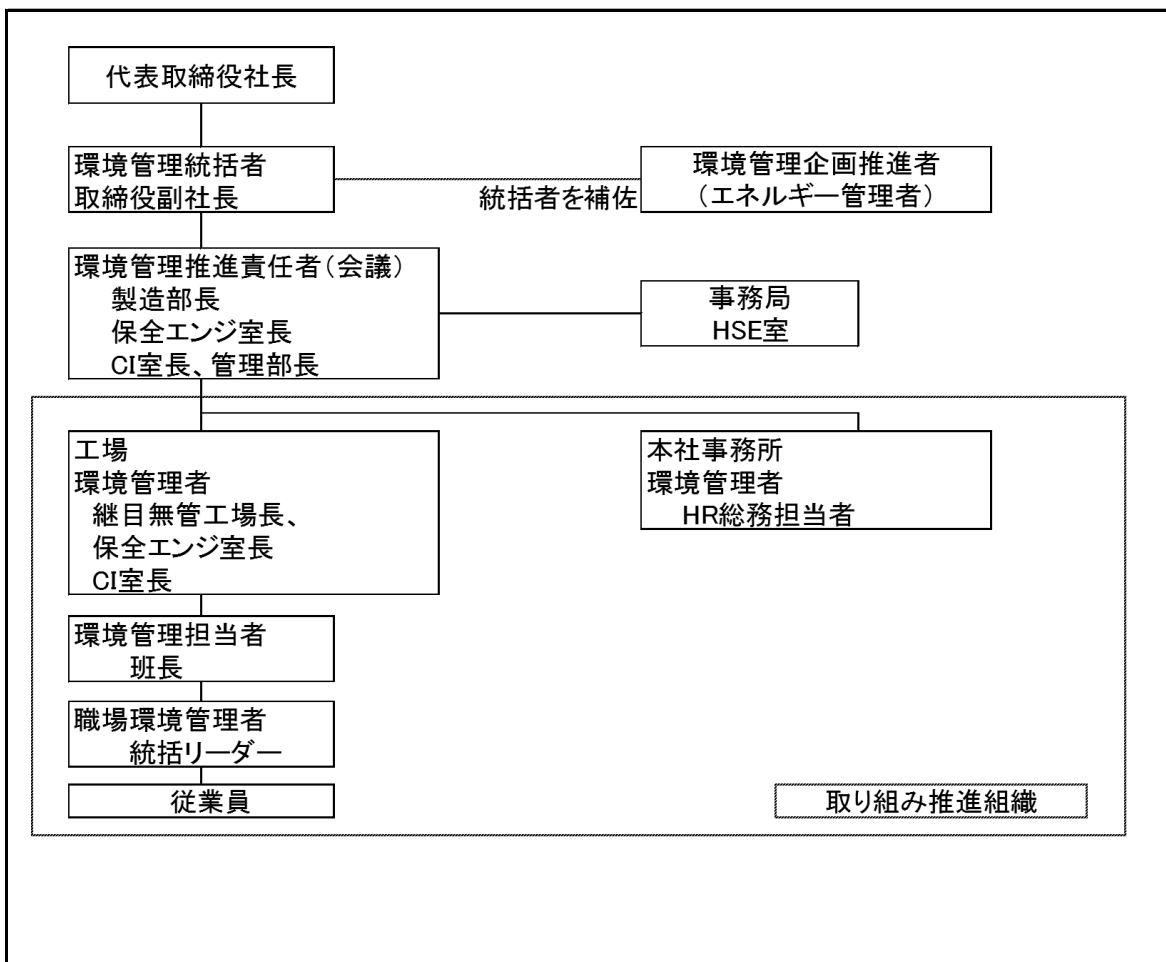
- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

1. 地球温暖化対策基本方針  
 事業活動に伴うCO2排出による地球温暖化対策として以下の方針により、CO2の排出削減を図る。  
 (1) CO2削減目標を明確にし、その期間内の達成を目指す。  
 (2) 全社において、組織的に、継続して対策を推進する。  
 (3) 低操業度下での生産量の変動に対応した効率的な生産ラインの運用を実施する。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成27年度	目標年度	平成30年度
基準排出量	(実) 39,180 (調) 39,180 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 36,992 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 5.6 %	削減量	(実) 2,188 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	単 位
基準年度の値	目標年度の値
削減率	%
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	

ウ 目標設定に関する考え方

昨年より、生産量がそれ以前の年度に比べて急激に減少した低操業下での今年度からの燃料原単位、電力原単位および固定的に使用している蒸気の削減を計画した。これらの削減は、主に設備使用の効率化による固定的なエネルギーの使用の削減(4.6%)によるものであり、また、省エネ診断より提案された炉の燃焼プロア-の最適化工事計画による改善効果(1%)も含めて目標とした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

工場の削減目標を全社の目標としている。

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の継続 毎月の省エネフォローアップミーティングにて、活動を推進。</li> <li>○エネルギー使用実績の把握 毎月のエネルギー使用量の実績を各部署で共有し、活用する。 また管理標準の定期的な見直しを実施し、評価をより明確にする。</li> <li>○主要設備の保全管理 主要な省エネ設備の点検、補修を強化し、より効率的な状態を維持する。 また、老朽化した空調設備の計画的な更新を進める。</li> <li>○ガス燃焼設備の更なる原単位改善 加熱炉のヒートパターンの改善、熱処理炉の侵入空気低減等により燃料原単位の削減を図る。</li> <li>○精整ラインの電力削減 低操業下でのラインの効率的な運用（休止、統合）により電力を削減する。</li> <li>○蒸気の削減 固定的使用の蒸気量を使用範囲、使用期間を限定し、削減を図る。</li> </ul>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

これまで実績なく、今後の検討課題。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

- 推進体制の強化：省エネ委員会（月1回）の活動（継続）
- エネルギー使用実績の把握：各ライン毎の時間単位の電力、ガス使用量等のトレースを実施。
  - CO2排出削減対策補助金による省エネ診断を実施
- 主要設備の保全管理およびガス燃焼設備の原単位改善の実施
  - 小径管工場加熱炉炉床の全面改修実施
- 精整ラインの効率的運用：各ラインの稼働・休止の機動運用により、稼働時の効率化を実施。
  - 小径管工場塗装ラインの1ラインの休止

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- 廃棄物の排出量の把握および削減に係わる対策
- エコ運搬制度の荷主としての活動推進
- 川崎温暖化対策推進会議への参加

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	39,180	t-CO <sub>2</sub>
(調)	39,180	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
継目無管工場	川崎市川崎区池上町2番1	2234	鋼管製造業	38,907 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	1
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--